

Shinkin Asset Management Co., Ltd.

DISCLOSURE

2025

ディスクロージャー誌



しんきんアセットマネジメント投信株式会社

はじめに

しんきんアセットマネジメント投信株式会社は、信用金庫やそのお客さまをはじめとしたみなさまから、選ばれる、勧められる、「しんきん感」のある運用会社を目指しています。

みなさまに当社のことをもっと知っていただきたく、「ディスクロージャー誌 2025」を作成いたしました。本誌が、みなさまのお役に立てれば幸いに存じます。



Mission

魅力的な投資機会の提供

運用力の強化やより良い商品開発に向けた取り組みを継続的に行い、みなさまに魅力的な投資機会を提供します。

積極的な情報提供

当社の商品を理解したうえで選び、持ち続けていただけるよう、積極的な情報提供に努めます。

人財の重視

付加価値の源泉である人財を重視し、その育成に努めます。

豊かな国民生活への貢献

業界の運用会社として、信用金庫とともに成長し、豊かな国民生活の実現に貢献します。

Value

わたしたちが大切にしたい価値観や姿勢『ShinKin Asset Management』

Speciality (専門性)

高度な専門性を追求し自己研鑽に努めるとともに、強い責任感と高い職業倫理を保持します。

Keep Challenging (挑戦・変化)

現状にとどまることなく、失敗を恐れず挑戦し、自分自身を変化させていくことを大切にします。

Aspiration (志)

運用会社としての使命を果たすために、志を高く持ち続けます。

Mutual Respect (尊重)

多様な意見・価値観を取り入れ、互いに尊重しあい協力することを大切にします。

< 目次 >

◆ はじめに / 経営理念	1P	◆ 資産運用について	6P
◆ ご挨拶	2P	◆ 運用に関する取組み	7P
◆ 会社概要	3P	◆ 商品開発等に関する取組み	8P
◆ 方針等	4P	◆ サービス提供に関する取組み	9P
◆ コンプライアンス態勢・リスク管理態勢	5P	◆ データ集	10P

ご挨拶



みなさまには、平素より格別のお引き立てを賜り、厚く御礼申し上げます。

当社は、信用金庫業界の運用会社として、1990年12月に設立されて以来、みなさまの資産運用のお手伝いや、資産形成に資する投資信託商品等を提供してまいりました。

おかげさまで運用資産合計は1兆円を超え、これもひとえにみなさまのご支援の賜物と心より感謝申し上げます。

現下の金融市場環境は、金利、為替の変動や不透明な国際情勢等により、一段と厳しさを増しております。こうした状況を鑑み、わたしたちは資産運用のプロフェッショナルとして、お客様本位の業務運営に徹しつつ、中長期的な視点に立ち、運用商品・サービスの充実に努めています。

2025年度は、運用会社としての使命や当社の存在意義等を再考し見直した経営理念のもと、豊かな未来と社会の繁栄に貢献するため、選ばれる、勧められる、「しんきん感」のある運用会社を目指し、役職員一同協力のうえ、全力を尽くしてまいりますので、引き続きご愛顧を賜わりますようお願い申し上げます。

代表取締役社長

田中 賢治



常務取締役 菊池 俊



取締役 勝亦 正和



監査役 星野 浩一

会社概要

当社は、信金中央金庫 100%出資の運用会社です。

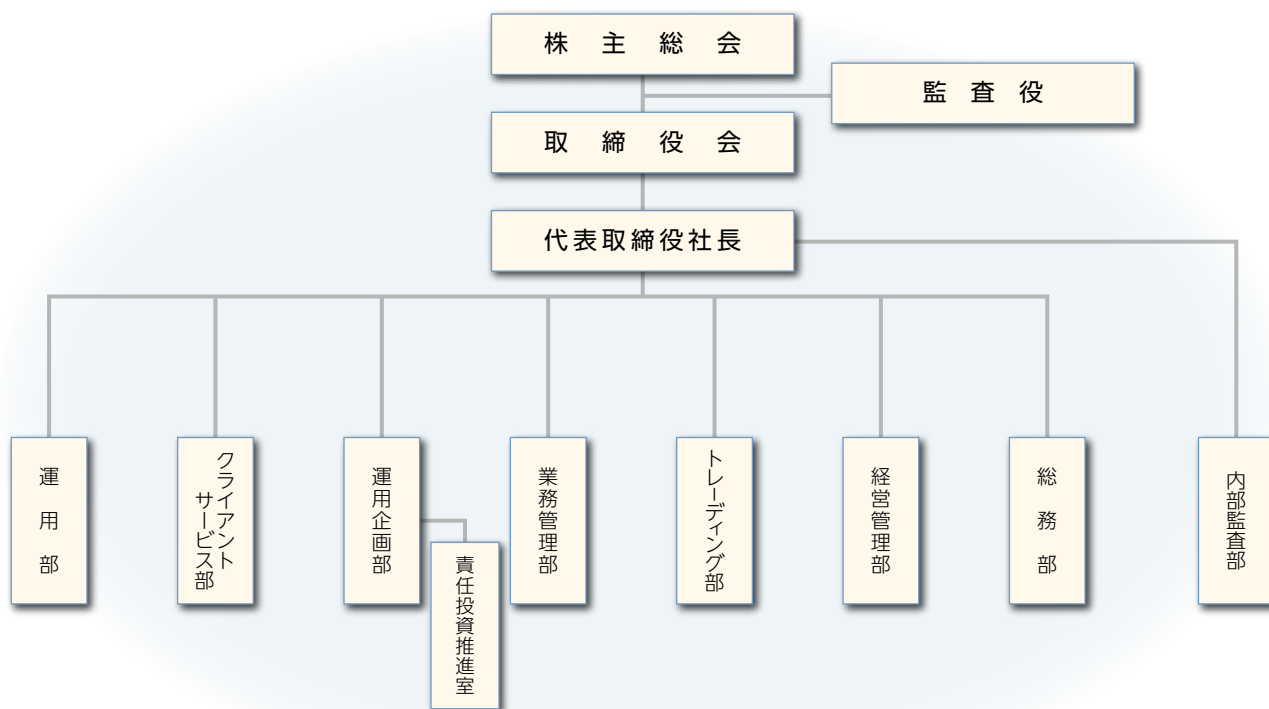
個人顧客向け投信窓販商品の提供や、信用金庫が主催する個人顧客向け資産運用セミナーへの講師派遣、信用金庫職員向けトレーニー研修・勉強会等の業務サポートを行っています。

また、機関投資家の資産運用ニーズに応えるべく、国内外の債券、株式等を組み入れた様々な投信商品を組成し、しんきん証券株式会社等を通じて提供しています。

会社概要 (2025 年 6 月末現在)

・設立	1990 年 12 月 14 日	・資本金	2 億円
・金融商品取引業者	関東財務局長（金商） 第 338 号	・運用資産残高	1 兆 866 億円（2025 年 3 月末）
・加入協会	一般社団法人投資信託協会 一般社団法人日本投資顧問業協会	・代表取締役社長	田中 賢治
・事業内容	投資運用業 投資助言・代理業 第二種金融商品取引業	・役職員数	81 名（常勤）（2025 年 3 月末）
		・所在地	〒104-0031 東京都中央区京橋 3-8-1
		・TEL	03-5524-8161（代表）
		・URL	https://www.skam.co.jp

組織図 (2025 年 6 月末現在)



方針等

<お客様本位の業務運営>

お客様の安定的な資産形成の実現に貢献するため、「お客様本位の業務運営に関する取組方針」および「お客様本位の業務運営に関するアクションプラン」を制定・公表し、お客様本位の業務運営に取り組んでいます。

【お客様本位の業務運営に関する取組方針】

1. お客様の最善の利益の追求

全役職員が高い専門性と企業倫理をもって、お客様本位の業務運営を徹底し、お客様の最善の利益を追求します。
また、お客様本位の業務運営が企業文化として定着するよう努めます。

2. 利益相反の適切な管理

お客様の利益が不当に害されることがないように、利益相反にかかる管理を適切に行います。

3. 手数料等の明確化

お客様に負担いただく手数料その他費用について、お客様に十分ご理解いただけるよう、丁寧な形で情報提供を行います。

4. 重要な情報の分かりやすい提供

商品・サービスの販売・推奨等にかかる重要な情報や経済環境・市場動向等について、お客様に十分ご理解いただけるよう、丁寧な形で情報提供を行います。

5. お客様に最適な商品・サービスの提供

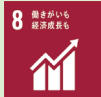
お客様の資産状況、取引経験、知識および取引目的・ニーズに照らして、お客様に最適な商品・サービスの提供を行います。

6. お客様本位の業務運営を徹底するための枠組みの整備

お客様本位の業務運営を徹底するため、業績評価や役職員研修等の枠組みを整備します。

<SDG sへの取組み>

SDG s（持続可能な開発目標）について、信金中央金庫グループとして「地域」、「人々」および「環境」の3つを重要なテーマとして取り組み、社会の持続可能な発展に向けて貢献してまいります。

テーマ	取組事例	関連するSDGs
◆地域の持続的繁栄 地域を支える信用金庫とその事業基盤である中小企業の持続可能性を高めるとともに、地域活性化支援への取組みを推進することで、地域社会の持続的な繁栄に貢献します。	信用金庫の 余資運用強化等	   
◆あらゆる人々の幸福 信用金庫とともに地域のシニア世代、子どもたち、そしてあらゆる人々の幸福のための活動に取り組み「誰一人取り残さない」多様性と包摂性のある社会の実現に貢献します。 特に、我が国の将来を担う子どもたちを、金融分野にとどまらず、幅広く支援します。	あらゆる世代に向けた 多様な商品提供等	     
◆地球環境の保全 事業活動における環境への負荷を低減することに努め、また、グローバルに投資を行い、環境問題に配慮した投資を推進することで、地球環境の保全に貢献します。	ESG 投資の推進等	    

<環境方針・人権方針>

「信金中央金庫グループ環境方針」および「信金中央金庫グループ人権方針」を定め、環境保護および人権の尊重に向けて、信金中央金庫グループ一体となって取り組んでいます。

コンプライアンス態勢・リスク管理態勢

1. コンプライアンス態勢について

運用会社として、高い社会的責任や公共的使命を果たすため、取締役会のもとでコンプライアンスに関する問題を一元管理する体制を構築しています。

原則月次で開催するコンプライアンス・運用管理委員会では、コンプライアンスに関する重要事項を審議しています。コンプライアンス統括部門および関連部門を定め、それぞれの役割を明確にし、全部門にコンプライアンス責任者、担当者を配置しています。また、コンプライアンス態勢の適切性、有効性を検証するため、全部門から独立した内部監査部門を設置しています。

上記責任や使命を果たすための施策として、役職員が遵守すべき倫理規範および行動基準を示した「しんきんアセットマネジメント投信倫理綱領」、年度ごとのコンプライアンスの具体的な実践計画である「コンプライアンス・プログラム」、役職員が遵守すべきルールを明確にするためのコンプライアンスの具体的な手引書である「コンプライアンス・マニュアル」を策定するとともに、全役職員を対象にコンプライアンス研修を行うなど、コンプライアンス意識の徹底に努めています。

2. 利益相反管理態勢について

業務運営において利益相反によりお客様の利益が不当に害されることがないように、利益相反管理態勢を整備し、その概要を利益相反管理方針として公表しています。

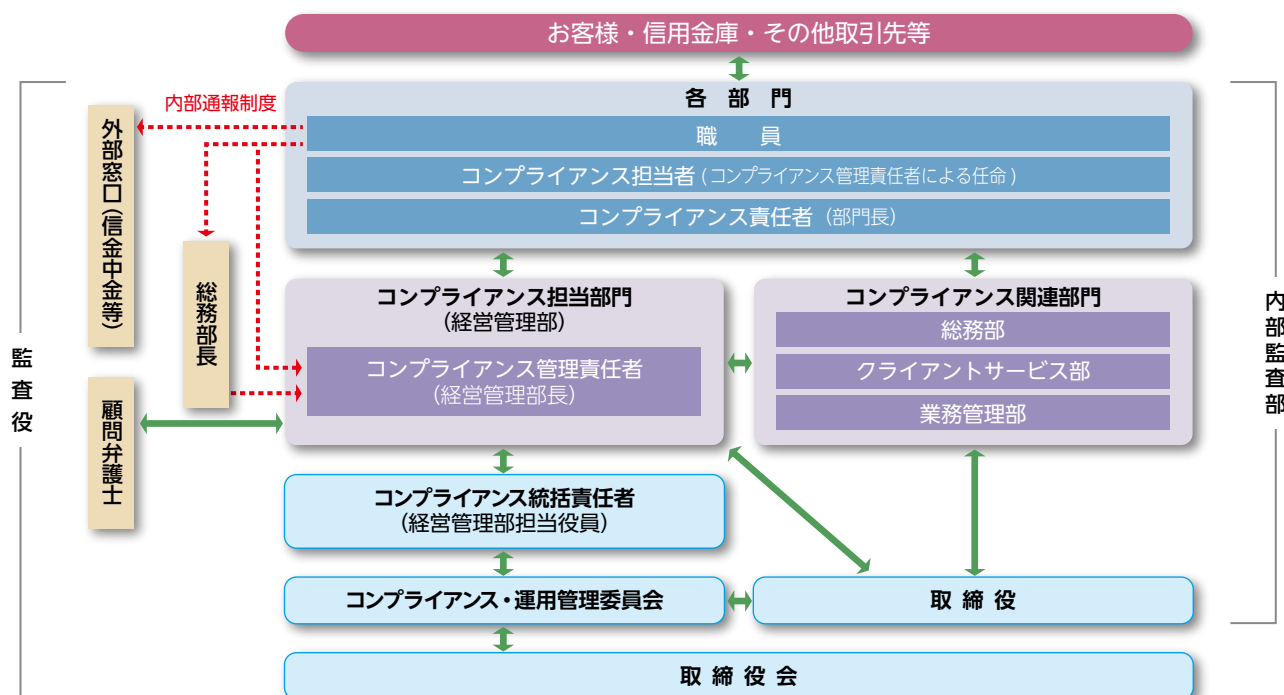
利益相反のおそれがある取引等の類型を以下のとおり定め、管理対象としています。また、当該管理対象に関する統括責任者と管理部門を定め、お客様の利益が不当に害されるおそれのある取引等の特定および利益相反管理を一元的に行っています。

- ・当社等と運用資産の取引等
- ・当社等の取引先と運用資産の取引等
- ・運用資産相互間の取引等
- ・当社およびその役職員が運用資産に係る情報を利用して行う取引等
- ・当社およびその役職員がお客様の資産運用に係る情報を利用して行う取引等
- ・当社と当社関係会社間の不当な情報の授受
- ・上記のほか、お客様の利益が不当に害されるおそれのある取引等

3. リスク管理態勢について

金融機関を取巻く環境は日々変化しています。当社では、お客様に安心してお取引いただくためにリスクの種類ごと（信託財産の運用リスク、事務リスク、システムリスク、コンプライアンス・リスクおよび自己資金の運用リスク）にリスク管理の基本方針と組織体制を定め、各リスクの特性に応じて、機動的・効果的なリスク管理態勢を構築しています。

<しんきんアセットマネジメント投信のコンプライアンス態勢>



資産運用について

<運用の基本的な考え方>

◆中長期的な運用の重視

運用は、分散投資を基本とし、ファンダメンタルズの調査・分析に基づく投資判断に加え、投資の意思決定に際して非財務的要素である ESG（環境・社会・ガバナンス）を考慮することにより、責任ある投資を実行するとともに、中長期的な資産価値の増大を図ることを重視しています。

◆運用の一貫性・継続性の確保

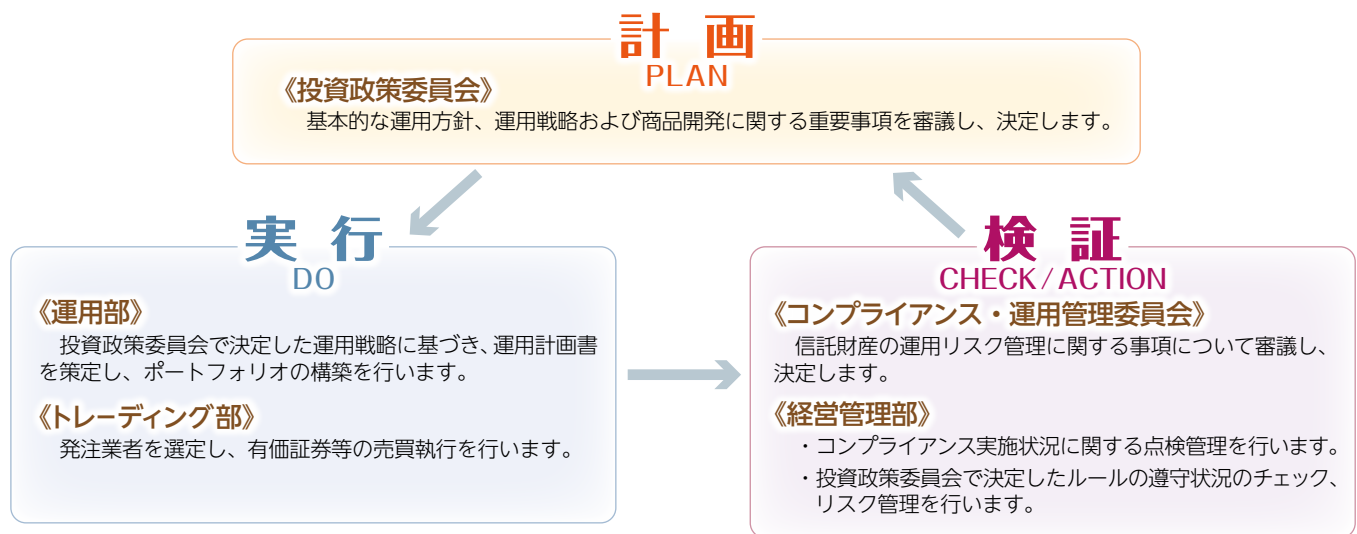
運用の実践にあたっては、プロセスやポートフォリオのモニタリング、リスク分析および結果検証など運用に係る PDCA を徹底し、一貫性・継続性を確保します。

◆積極的な情報開示

運用内容については、明確で分かり易く、透明性の高い情報開示を積極的に行います。

<運用管理体制>

計画・実行・検証をつねに繰り返し、投資結果を最良のものにするための運用管理体制を構築しています。

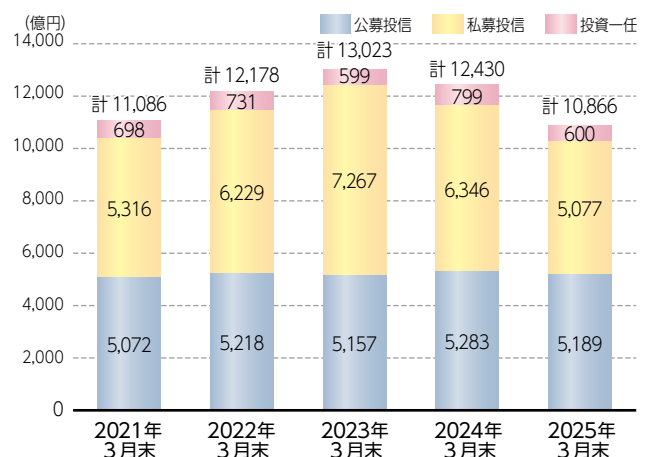


<運用資産残高推移>

信用金庫のお客様等個人投資家向けに公募投信を、信用金庫等機関投資家向けに私募投信を、一部機関投資家向けに投資一任契約を提供しており、年度末時点の運用資産残高は、2018年3月末以降1兆円を超えて推移しています。

2025年3月末の運用資産残高については、市況の影響などもあり減少し、合計10,866億円となりました。

(注) 投信は、3月末純資産総額
投資一任は、3月末契約残高（2021年～2022年は、年度の契約期日残高）



運用に関する取組み

Mission「魅力的な投資機会の提供」、「人財の重視」に向けた、運用に関する取組みをご紹介します。

◆運用プロフェッショナル人財の確保

魅力的な投資機会の提供につながる運用の基盤として、豊富な経験と専門知識を持った人財による運用体制の整備に努めています。

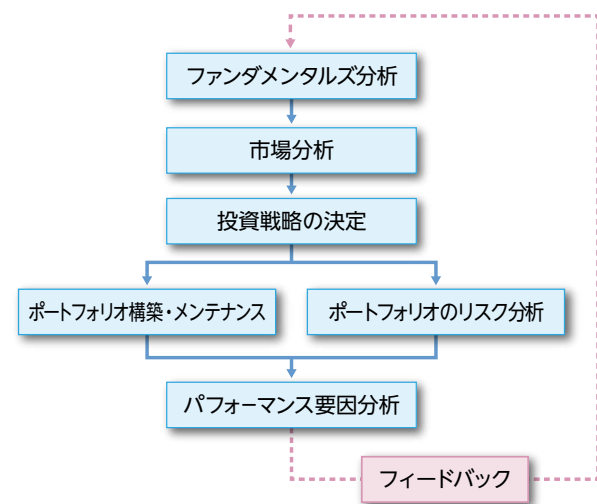
2025年3月末時点において、当社のファンドマネージャーの運用経験年数は平均約14年と、経験豊富なメンバーが揃っており、これらのメンバーが株式、債券、REIT、マルチアセット等のグループごとに、専門性を高めた運用を行っています。

また、ポテンシャルのある若手を積極的に登用し、経験豊富なファンドマネージャーが若手ファンドマネージャーをサポートするなど、長期的ビジョンに基づく運用体制の強化にも取り組んでいます。



	2024年3月	2025年3月
ファンドマネージャー	17人	16人
平均運用経験年数	18年1か月	14年7か月
平均在籍年数	9年10か月	9年4か月
日本証券アナリスト協会検定会員	10人	8人※

※検定会員は会社全体で20人。



◆多角的な視点による投資調査

投資収益最大化のためには、市場は非効率的であるという前提のもと、多角的な視点による経済状況や市場動向等の投資調査を継続して行い、魅力的な投資機会を発掘することが重要だと考えています。

当社は、長年の資産運用で培ってきた投資知識や運用技術をもとに、ファンダメンタルズ分析、市場分析を行い決定する投資戦略に沿って投資を実行することで、各資産クラスや運用スタイルに適した運用を行っています。

これらの分析には、社内のアナリスト、エコノミスト、ストラテジストが収集・分析した情報が共有されており、ファンドマネージャーが魅力的な投資機会を発掘するための運用サポート体制が構築されています。

◆運用力の強化

運用力強化のためには、優秀な人財の確保や体制整備に加え、新しい運用手法の構築や投資対象資産の拡大も重要だと考えています。

2024年度においては、AI運用の改善を行うとともに、アクティブファンドの運用力強化、新たなベータ戦略に基づくファンドの設定・運用など、幅広い取組みを行いました。

2025年度も、新たな投資手法の構築や更なるアクティブファンドの運用力強化など、みなさまに「選ばれる、勧められる」商品の提供に向けた取組みを推進しています。



商品開発等に関する取組み

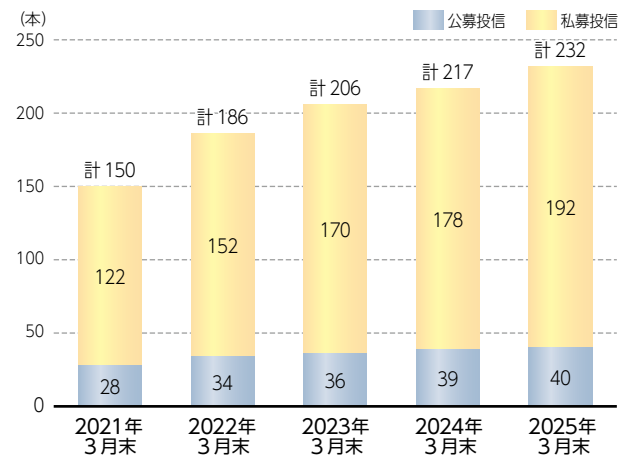
Mission「魅力的な投資機会の提供」、「積極的な情報提供」に向けた、商品開発や情報提供に関する取組みをご紹介します。

◆多様なニーズにお応えする商品ラインナップ

魅力的な投資機会提供のため、幅広い資産クラスで多種多様な商品を提供し、その規模は2025年3月末現在、公募投信で5,189億円（40本）、私募投信で5,077億円（192本）となっています。

2024年度は、公募投信1本、私募投信30本を組成しており、2025年度もお客様のニーズに応える、「選ばれる、勧められる」商品の組成に取り組んでいきます。

＜投信の商品数推移＞



◆プロダクトガバナンスの強化に向けた取組み

お客様の資産形成へのさらなる貢献を目指し、個別商品ごとの品質管理を徹底するため、2024年4月にプロダクトガバナンス・ワーキンググループを設置しました。

同ワーキンググループは、原則として月1回開催し、商品組成に係る部門横断的な検討や、既存商品の定期的な検証、パフォーマンス向上に向けた対応策を議論するなど、お客様の最善の利益に資する取組みを推進しています。

◆責任投資への取組み

お客様から大切な資金の委託を受ける立場として、「責任ある機関投資家」の諸原則＜日本版スチュワードシップ・コード＞の受け入れを表明し、スチュワードシップ活動に取り組んでいます。

また、責任投資原則（PRI）の署名機関であり、責任投資への取組みについては、商品開発を担う運用企画部内に設置された「責任投資推進室」が専任して取り組んでいます。

◆レポートによる情報提供

お客様の投資判断等に役立てていただくため、ウィークリーレポート、マンスリーレポートおよび投資環境など、様々なレポートをタイムリーに提供しています。

情報が氾濫し、本質が見えにくくなっている世の中において、市場動向等を理解するうえで必要な情報を厳選し、わかりやすくお伝えすることを目指しています。



サービス提供に関する取組み

Mission「豊かな国民生活への貢献」、「積極的な情報提供」に向けた、信用金庫とともに成長し、みなさまの豊かな生活の実現に貢献するためのサービス提供に関する取組みをご紹介します。

◆信用金庫サポート業務

クライアントサービス部を中心に各部門の専門性の高いスタッフにより、信用金庫のみなさまをサポートしています。具体的には、公募投信販売サポートのため、信用金庫職員向けの投信窓販業務研修や、お客様向け資産運用セミナー等に講師を派遣しています。

研修では、各信用金庫からの要望に基づいた投資信託の基礎知識や各ファンドの内容、セールス話法などを分かりやすく説明しており、セミナーでは、資産運用の必要性や各ファンドの運用状況、内外経済の現状や見通し等を解説しています。

なお、2024年度は、親会社である信金中央金庫と連携した投信窓販の集合研修を実施するなど、グループで協力したサポートも実施しました。

◆2024年度実績

信用金庫職員向け研修（73 金庫、延べ 282 回）／お客様向けセミナー（24 金庫、76 会場）

研修・セミナー例		内 容
研修	投資信託の基礎知識	投資信託の仕組みやリスク・リターン、分散投資等
	投信セールス方法	効果的なアプローチやニーズ喚起、商品説明方法等
	投信窓販コンプライアンス	顧客に対する投資勧誘、販売ルール等
セミナー	資産運用の必要性	平均寿命や老後資金等による運用の必要性等
	世界経済の現状と見通し	各国の株価推移や景気の先行き等
	当社商品の運用状況	各商品の基準価額推移や市場見通し等



オンライン研修

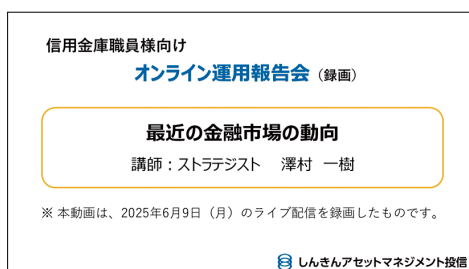
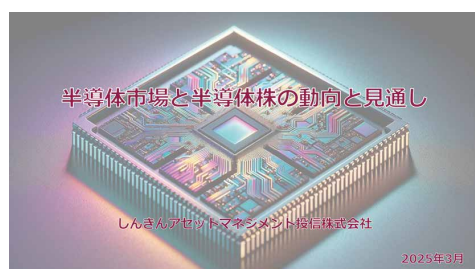


研修風景



◆動画等による情報提供

お客様により分かりやすく情報を提供するため、市況・マーケット情報や商品概要の動画を作成し、ホームページに掲載しています。また、信用金庫職員向けに、ファンドマネージャーによるオンライン月次運用報告、ストラテジストによるオンライン市場セミナーなど、投信窓販業務の推進やアフターフォローに資する情報提供を適時に行うなど、みなさまから「選ばれる、勧められる」ことを目指しています。



データ集

<貸借対照表>

(単位：百万円)

科 目	2023 年度	2024 年度	増 減
(資産の部)			
流動資産	9,360	4,827	▲ 4,532
現金・預金	8,583	4,034	▲ 4,549
未収委託者報酬	714	695	▲ 18
その他	62	98	35
固定資産	187	5,175	4,987
有形固定資産	96	95	0
無形固定資産	30	20	▲ 10
投資その他の資産	61	5,060	4,998
資産合計	9,548	10,003	454
(負債の部)			
流動負債	740	724	▲ 16
未払金	525	527	2
未払法人税等	99	87	▲ 11
その他	115	108	▲ 7
固定負債	165	156	▲ 9
退職給付引当金	149	136	▲ 13
その他	16	20	4
負債合計	906	880	▲ 26
(純資産の部)			
株主資本	8,641	9,122	481
資本金	200	200	—
利益剰余金	8,441	8,922	481
評価・換算差額等	0	▲ 0	▲ 0
その他有価証券評価差額金	0	▲ 0	▲ 0
純資産合計	8,641	9,122	481
負債・純資産合計	9,548	10,003	454

<損益計算書>

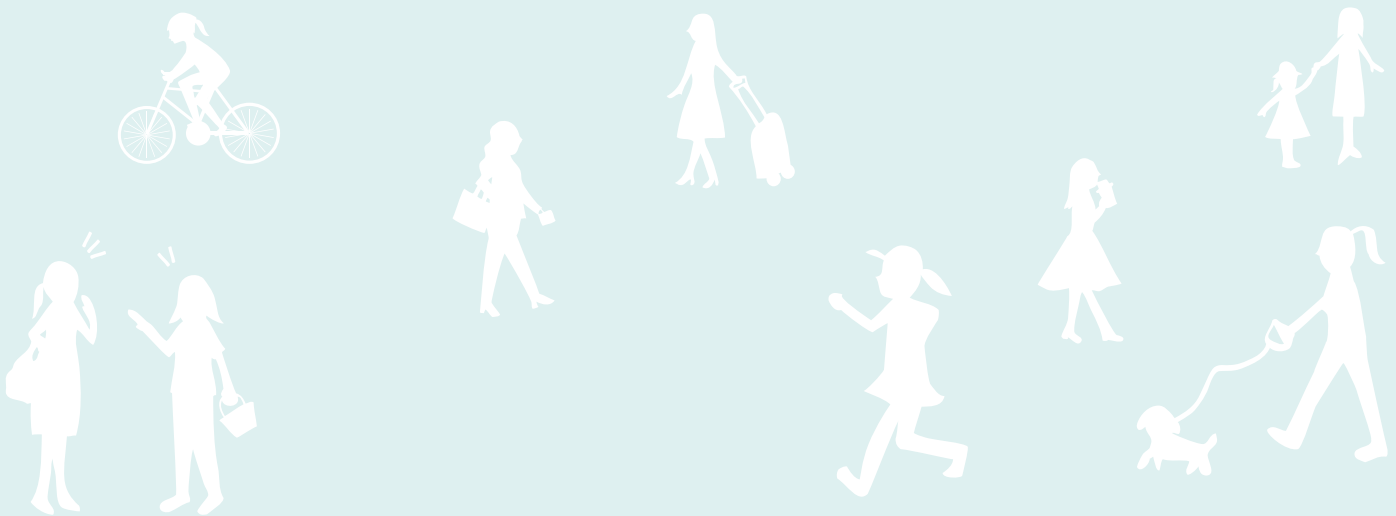
(単位：百万円)

科 目	2023 年度	2024 年度	増 減
営業収益	5,874	5,478	▲ 396
委託者報酬	5,755	5,340	▲ 414
運用受託報酬	119	137	18
営業費用	5,029	4,842	▲ 186
支払手数料	2,834	2,652	▲ 181
その他	2,194	2,189	▲ 4
営業利益	845	635	▲ 209
営業外収益	0	59	59
営業外費用	4	2	▲ 2
経常利益	841	693	▲ 148
特別損失	3	—	▲ 3
税引前当期純利益	837	693	▲ 144
法人税等	250	210	▲ 40
法人税等調整額	1	0	▲ 1
当期純利益	585	481	▲ 103



＜本資料に関してご留意していただきたい事項＞

- ※当資料は、しんきんアセットマネジメント投信株式会社により作成されたものであり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。また、当社情報の提供を目的としており、投資信託の勧誘を目的とするものではありません。
- ※当社は、投資信託の募集の取扱いおよび販売業務を行っておりません。
- ※当資料は、当社をよりご理解いただくことを目的として作成された資料です。
- ※当資料は、信頼できると思われる情報源に基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
- ※当資料の中で記載されている経済全般の実績、評価または将来動向の表示等は、作成日時点におけるものであり、将来の成果を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変わる場合があります。
- ※投資信託および投資一任は、リスクを含む商品であり預金と異なり元本の保証はありません。
- ※当資料を当社の書面による同意なくして、その全部もしくは一部を複製し、また、その他の方法で配布することはご遠慮ください。



しんきんアセットマネジメント投信株式会社

〒104-0031 東京都中央区京橋3丁目8番1号
03-5524-8161 (代表)

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第338号
加入協会／一般社団法人投資信託協会 一般社団法人日本投資顧問業協会

UD FONT

ユニバーサルデザイン(UD)
の考えに基づいた、どなた
にも見やすいデザインの
文字を採用しています。